

香川大学教育学部附属学校園の教育研究活動等に関する第2期中期目標

- 1 各附属学校園の掲げる教育目標のもとに、教育の質を高め、幼児・児童生徒の健全育成をめざす
- 2 大学・学部のもつ人材を活用しつつ、教育・研究の連携を一層強める
- 3 各附属学校園におけるこれまでの先導的研究の実績を総括するとともに、地域の公立学校や大学・学部との共同研究を活性化
- 4 教員養成の高度化のために教育実習の在り方を見直し、課題を大学・学部に提示し、連携して対応する
- 5 高松・坂出両附属学校園の特徴を生かし、教育課程の開発や発達支援等の教育・研究を先導し、社会的貢献を高める

本校の教育目標

学びをつくる子どもの育成

めざす子ども像



- ・自ら追求し、考えぬく子ども
- ・心の美しい、互いに思い合う子ども
- ・健康で、たくましい子ども

学級数12,児童数476名

子ども理解に立って

附属坂出小学校の職員として



- ・歴史と伝統を受け継ぎ、実践研究に全力を傾けます
- ・大学、学部と連携し、教育実習等の使命を果たします
- ・附属坂出学園が連携し、一貫教育を推進します

校長1,副校長1,主幹教諭1,教諭16
 非常勤講師4(複担1,少人数1,JTE1,ALT1)
 事務関係4,用務1,給食関係3 計31名

特色ある教育活動(7つのプラン)

1 研究活動の充実

第95回教育研究発表会(1/26~27):
 研究案内等の広報活動を積極的に行う。
 魅力ある研究提案,授業提案ができるよう研究の
 充実に努める。子どもたちの学びの姿を通して本校の研究
 について提案できるよう日々の授業から子どもを育てるよう心が
 ける。

自主研究の公開:昨年,社会科が自主研究会を開催した
 ように教科ごとの授業公開を積極的に実施する。その際,公立
 学校だけでなく学部教員や学生も参加できる機会とした
 い。

外部専門家との研究連携:昨年度研究会でご指導いた
 だいた文部科学省教科調査官等との継続研究連携。他の教
 科調査官等との研究連携の拡充。

東北大学教授の川島隆太先生と脳神経科学研究連携によ
 るドリル教材CDの継続販売。

2 大学・学部との連携強化

教員養成の核となる教育実習の充実
 医学部看護学科との教育実習試行

学部大学院生による連携授業,教育実習公開授業参観
 学部教員との共同による研究や**科研費申請**の推進
 学生ボランティアの活用:教科学習や英語活動等の参
 観や補助及び校外学習や出張に伴う補欠の補助等。

3 附属坂出学園としての一貫教育

学習とは主体的に「意味を作り出していくプロ
 セス」であるとの学習観に立ち,12年間の学び
 をつくる

幼小連携:滑らかな接続

小中連携教育:夢と希望をもつための小中連携

(中学校部活参観,中学校教員による出前授業)

特別支援学校との継続交流(4年)

4 県教委・公立学校への支援

指導助言:教職5年経験者研修,現職教育,スクールア
 ドバイザー等

坂出・綾歌小学校教育研究会との連携:本校研究発表
 会に全員参加。研究交流,協力及び司会等の拡充。坂綾
 校長会研修会も本校で実施。研究に対する意見交流の場
 とする。

県学習状況調査問題作成への協力。

5 子どもを育てる行事,環境づくり,安全衛生

体育的行事(運動会9/17等)

文化的行事(白寿記念附小フェスタ等)

読書推進

縦割り活動の充実

食育(給食試食会,授業実践)

全校歯磨きの習慣化

校庭の芝生化継続

6年カルテの工夫(学校宿泊等)

6 豊かな心をはぐむ体制づくり

スクールカウンセラー相談体制の充実

子どもボランティア活動のすすめ

生徒指導委員会(問題状況を継続記録)

人間関係アンケートの実施,分析,対策(年2回)

クラブ活動の充実

(ボランティアの継続,理科実験出前講座に応募等)

委員会活動における貢献度を実感する機会の工夫

7 改善に生かす評価,創立100周年への準備

学校評価の実施・公表

(教師評価,子ども・保護者評価),学校関係者評価,学校
 保健安全委員会

・目標申告・ヒアリングの実施(年3回)

過去100年の歴史と伝統を確認し,新たな100年を見据
 える機会としての平成24年創立100周年記念事業の準備